



ジョン F. ジャーム RI会長テーマ
 「人類に奉仕するロータリー」
 2820地区テーマ
 「ロータリーに魅力を。
 一人一人が輝きを」

2016~2017年度
 会長 田口 誠
 幹事 土子 吉久



前々回の例会報告

第2123回例会 3月9日(木)

於・例会場 PM 0:30~1:30

- 点鐘 田口会長
- ロータリーソング “我等の生業” 斉唱
- 出席報告 山崎委員長

日付	出席	欠席	メイク	出席率	天気
3月9日	24	4	0	85.71%	晴れ

○ 委員会報告

- ・加部東次期幹事 地区協議会について
- ・ゴルフ部 田山ゴルフ部幹事
年会費後期分お願いします。
- ・関根会員
3/6が誕生日だそうです！



「ガールズパワーズ」最終章「航宙制作中」
 制作協力: 株式会社 かんざし

かま家

- 幹事報告 土子幹事
・幹事メモ報告あり
- 会長の時間及び卓話 田口会長
「2/25の史跡探訪・歴史講演会について」

ロータリー財団100周年事業「大洗磯崎神社は常陸国の宗教的中心だった」講演会の挨拶
 ご来場の皆様、こんにちは。
 このように多数の皆様にご参加いただけましたこと、一緒に、この講演会を開催した、大洗町教育委員会生涯学習課の皆様、幕末と明治の博物館の皆様、観光ボランティア大洗の皆様にご心から感謝申し上げます。



さて、平成28年6月30日観光庁発行の、観光統計による平成27年の年間確定値によりますと、茨城県の中で入込客数1位は、大洗町の4,441,000人です。
 そして、観光目的のお客様のうち、歴史、文化が目的のお客様の構成比は、第2位の20.4%で、1位の行事、祭事イベントの21.6%と肩を並べるほどの大きなものです。
 この講演会がいわゆる歴史のお勉強の枠を飛び出し、大きく大洗観光の扉を開いてくれることも期待しています。
 慣れない私どものやることで、手違いや間違いも、多々あるものとは思いますが、良いところだけお持ち帰りいただけますよう、心からお願いいたしまして主催者ご挨拶とさせていただきます。

史跡探訪・歴史講演会アンケート結果集計表
 (120人中75人回収)

1. 何処からおいでですか
 大洗町 39人 水戸市 10人 常陸太田市 3人
 東海村 2人 ひたちなか市 7人 千葉県 3人
 日立市 1人 常陸大宮市 1人 鉾田市 1人
 高萩市 1人 行方市 1人 鹿嶋市 1人 茨城町 1人
 栃木県 2人 いわき市 1人 東京都 1人
2. 参加者年齢性別 男性54人 女性20人
 年代 20代3人 30代3人 40代4人 50代3人
 60代25人 70代26人 80代11人
3. 古墳見学感想
 ◎原型が残っていてよかった。環境維持をお願いします。
 ◎古墳の存在は、聞いていたが見分できて有意義だった。

- 整備保存に町事業として取り組んでいただきたい。
- ◎初めての古墳巡り楽しく、参考になりました。ボランティアのかたがたありがとうございました。
 - ◎古墳は海運、川運を見渡せる要所に位置していた。
 - ◎初めてです。周囲が整備されていて、見学の良い環境でした。望台は特によかった。
 - ◎全くの驚き初めて見て初めて聞いた。民有地も含まれているとのこと、住民との共存を大切に。
 - ◎関東の古墳は、詳しくないので非常に面白かった。
 - ◎非常に興味深かった再度ゆっくり見学したい。
 - ◎よかった。4つの古墳が近くに集中しているのに驚いた。
 - ◎大洗にこんな古代歴史があるとはびっくりです。有難うございました。
 - ◎普段見ることができない古墳を案内いただいたので良い見学会でした。
 - ◎ガルバンだけでなく、見晴らしの良いところにある古墳、太平洋はもちろん筑波山も見えた。解説もわかりやすく面白かった。管理もよく行き届いて感心した。
 - ◎歴史的にも価値があり素晴らしかった。
 - ◎近場で、すごく大きな古墳が、じっくり見学出来て、古の想像できて良かったです。大洗地域は弥生時代、農民が多く、早くから開けていたことがわかりました。
 - ◎大洗町住民ですのに初めてでした。古墳があることは知っていたが出席してよかった。
 - ◎古墳地域に入ることができるようにしてご尽力くださりありがとうございました。地元に住んでいながら、初めて見る景観に感謝いたしました。町の宝です。三六〇度パノラマの展覧台を設置し多くの人に見てほしい。
 - ◎普段見られないところに行けたのはよかった。(私有地のため)
 - ◎とても興味深く見学出来た。
 - ◎参考になりました。
 - ◎楽しかった。
 - ◎早く発掘調査してください。
 - ◎古墳見学は何度か参加していますが、見学するたび新しい発見があります。どこまでが私有地か道かわからないが大勢だと入れる？一人では入っていけない。
 - ◎よかったです。
 - ◎山登り大学、老人にはきつかったですが初めてなので見学ができました。疲れました。大洗町男性八〇歳代
 - ◎よかったですが、見学時間が足りなかったです。
 - ◎普段はなかなかいけないところを皆と一緒に見られてよかった。
4. 今回の松崎健一郎先生講演は、いかがでしたか。
非常に良かった18人、良かった35人、普通12人、良くなかった6人
5. 公演時間はいかがでしたか。
丁度良い29人、普通29人、長かった9人、短かった2人
6. 時間帯はいかがだったでしょうか？
午前中が良い3人、午後が良い24人、良い時間帯でした47人
7. 次に繋げるために、ご意見ご感想をお聞かせください。
- ◎時間が足りない感じです。
 - ◎大学の講義のようでよく理解できなかった。
 - ◎プリント文字が小さい、難しかった。
 - ◎講演会の連絡を
 - ◎楽しかった。文字があまりにも小さく読めない。こんなに小さい字が連なっている資料で眼鏡をかけないと読めません。
 - ◎大洗地区、大貫台地区先住人いたように聞いていますがその住しが住家が知りたい。神様については私は大変難しい話でした。色々有難うございました。
 - ◎大洗の地を中心として、支配者の推移および影響発展に

- ついて。
 - ◎ロータリークラブ会長のあいさつがアドリブが入るので、解かりづらかった。
 - ◎那珂川沿いの古墳群についてもっと詳しく学びたいと思う。
 - ◎2次講演をもっと時間を取ってほしい。
 - ◎私の隣にいた人は、常陸の国風土記に興味のある人が、うなずいたり、感心したりとても熱心に、最後まで聞いていた人がありました。私は、事前に少しでも下調べが必要だと思いました。
 - ◎資料が多すぎなので、精選し拡大してあるとよい。
 - ◎歴史のある街を実感しました。
 - ◎ぜひ連絡をください。(鉾田市男性 70代)
 - ◎大洗観光ボランティアの皆さんに感謝します
 - ◎疑問点、点と点だった知識が線になりました。
 - ◎資料の内容が、細かく分かりづらかった。せつかく多くの方が来てみるので、powerポイントなどを使って説明があったほうが分かり易いのではないのでしょうか。
 - ◎若い人の参加を求む。
 - ◎郷土史の講演をお願いします。(大洗町 50代男性)
 - ◎神社の歴史を教えてくださいよかったです。中世などの話も聞きたいです。
 - ◎よかった。また来たいです
 - ◎地域の古代史の掘り起こし、これが、関東地方、日本全体にどのような位置づけにあるものかについて、お話を伺いたい。
 - ◎松崎先生の講演は難しかったが少し理解できた。
 - ◎神社と大衆の関係を具体的に知りたい。神社と古墳群とのつながりは神社側からの見方。
 - ◎大洗町の歴史に関する講演、見学をお願いします。(古代～近世)
 - ◎資料の字が細かすぎました。興味深く聞かせてもらいました。再度教えていただきたいと思います。
 - ◎個人所有古墳が、見学しやすいように地主さんにもご協力が得られるように、まちとして働きかけをお願いします。
 - ◎powerポイントがあればよかった。
8. また講演会があれば、お越しいただけますか？
はい65人、いいえ2人

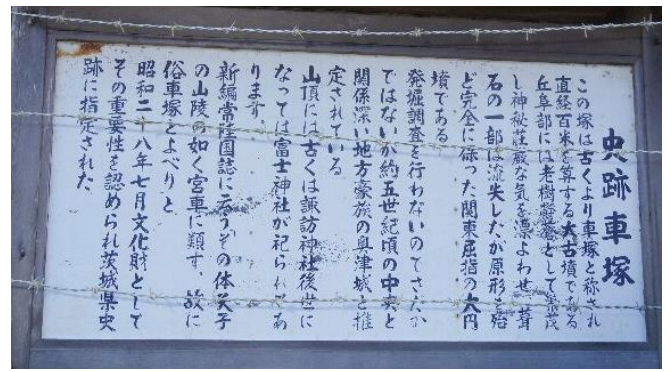
第一部史跡探訪

「神社前史・磯浜古墳群を歩く」

大洗町生涯学習課

観光ボランティアほのぼのの案内・解説による古墳群見学



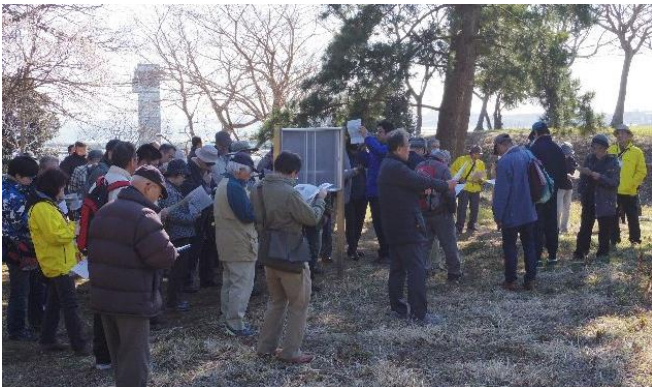


第二部歴史講演会
「大洗磯崎神社は常陸国の宗教的中心だった」



田口会長挨拶

司会進行は大山副会長



講師 松崎健一郎先生



【3月は水と衛生月間です】

前回の例会報告

第2124回例会 3月16日(木)

於・例会場 PM 0:30~1:30

- 点鐘 田口会長
- ロータリーソング “奉仕の理想” 斉唱
- 出席報告 次回報告
- 幹事報告 土子幹事
- 会長の時間 田口会長

- 卓話 「原子力の現状と研究」 土山大輔会員



2011年3月11日の東日本大震災、そして福島第一原発事故から丁度6年が経過しました。テレビ報道などで津波被害を受けた地域が少しずつではありますが、街が整備され、震災前の生活に戻る様子が映し出されています。一方、福島原発事故によって放射能汚染を受け、帰宅困難となった地域では、未だに震災時のまま、時間が止まっています。1月の原子力産業協会の賀詞交歓会で経済産業省の高木副大臣の挨拶では、「原子力関係者が先ず思うべきは、福島の復興」と話されています。私も原子力関係者の一人として、1日も早い復興に向けて、研究開発を通して貢献したいと切に思っているところです。

本日は、福島原発の廃炉に向けた作業の状況や、日本の原発における対策状況とあわせて、NFDでの廃炉に向けた研究の一部を紹介したいと思います。

3月11日の地震発生によって、外部電源が喪失し、さらに津波によって所内の非常用電源が喪失しました。電源喪失によって、炉心の冷却機能が失われ、1号機は、3月11日に炉心溶融が始まり、翌12日に水素爆発が発生しました。次いで、3号機が13日に炉心溶融し14日に水素爆発。2号機は水素爆発には至りませんでした。14日に炉心溶融しています。4号機は、定期点検中だったため、炉心には燃料は無く、炉心溶融を起こすことはありませんでしたが、3号機から廻った水素の影響で15日に水素爆発しました。

事故後は、非常に高い線量の中、爆発によって生じた瓦礫の撤去等や、汚染水の浄化作業などが進められました。現在は、除染などの対策によって、作業環境はすいぶん改善され、保管燃料の取り出しや、炉内の状況調査の準備が進められています。

廃炉に向けた対策は、東京電力だけで進めることは難しいため、原子力損害賠償・廃炉等支援機構や国際廃炉研究開発機構などの機関を設立し、国や様々な研究機関と連携して対応しています。NFDも東京電力やIRID、JAEA、大学、東芝、日立などと連携して一部の研究を実施しています。

これらの事業は、非常に多くの作業を同時に進める必要が

あるため、ロードマップと呼ばれる工程表を関係者で共有し、そのステップを目指す期限に向けて着実に進めていくことにしています。多くの難しい課題があり、なかなか思うようには進まないことや、現場のニーズに必ずしも合っていないなどの指摘もあるようで、今後も状況を踏まえながら軌道修正が行われていくと思います。

次に、事故後の環境影響の状況について少しお話しします。茨城県では、年に2回放射線監視委員会を開催し、県内の原子力事業所における線量率や排出される気体及び排水中の放射能濃度など確認しています。また、福島事故の影響について特別調査として航空機による広域のモニタリングや県内44市町村の常時測定、海水や河川などの測定を行って報告されています。福島原発の北西方向は、帰宅困難地域になっている線量の高い地域が残っていることがわかります。茨城県内では、県北沿岸と県南がやや高めですが、徐々に低下し、大部分が0.1マイクロシーベルト以下になってきています。平均では概ね0.05マイクロシーベルトで震災前に戻りつつあります。農産物の出荷制限も山林で栽培されるシイタケなどや、土中の食物を食べるイノシシが出荷制限になっていますが、その他は大体規制解除になってきています。

福島の事故における教訓を踏まえて、原子力施設に対して、様々な規制が強化されています。例えば、竜巻や森林火災に対する対応や、万一過酷事故が発生してしまった場合の対策。更には航空機によるテロ対策など新設、強化された規制になってきています。津波対策では、例えば浜岡では高さ2.2mの防潮堤を設置するなどしています。他にも緊急車両として電源車やガスタービンの設置、大型ポンプ車の配備なども実施しています。このような対策が十分にできて、新規規制基準に合致していることを原子力安全委員会が審査しています。これまで、43基について安全審査の申請がなされましたが、合格しているのはPWRの12にだけで、福島と同形式のBWRについては1基も合格には至っていません。東海2号も申請中ですが、2018年には運転開始から40年を経過することもあり、安全審査や地元との安全協定の締結に向けた協議を加速しています。

NFDでは原子力の安全性向上に向けた様々な研究を行っていますが、福島事故対応関係の研究について、一部を紹介いたします。NFDでは福島事故関係の汚染物を取り扱うライセンスを日本で有る2015年に取得しています。

福島から採取したサンプルをNFDに輸送して分析や評価をしています。例えば、汚染水処理で発生した廃棄物の核種分析や性状調査、建屋内から採取した汚染水の放射能分析、保管燃料の健全性評価などを実施しています。また、模擬デブリを作成して組成や性状を調査し燃料デブリ取り出しの方法検討に反映するための研究などを実施しており、今後も廃炉に向けた技術開発や、調査研究を実施していく予定です。

原子力発電所の再稼働については、色々なご意見があるかと思いますが、福島の日でも早い廃炉の実現と発電所の安全性向上に寄与していきたいと考えています。

欠席の連絡は関根会場監督まで

TEL 029-267-5135 FAX 267-5909

E-mail kamaya.s@view.ocn.ne.jp

次回例会

第2126回例会 4月6日(木)

於：例会場 PM 0:30 ~

「中川潤一会員」

3月30日は休会です。(定款第7条第1節(C))

四つのテスト 1.真実かどうか 2.みんなに公平か 3.好意と友情を深めるか 4.みんなのためになるかどうか
会報委員会 山田 純永 飛田 幸男 海野 宗久